



町花：山百合

議会だより

3月定例会

No.119

平成24年4月20日

12人での議会スタート	2
一般会計は39億8,500万円	6
一般質問 学校跡地の利活用など7議員が14問 ..	10
大震災復興に向けた補正（臨時会）	17



期待を胸に 統合から2年目 古殿小学校の新1年生

奉仕者として

スタート!



改選後の臨時議会（初議会）

議長選挙は議員全員の無記名投票で行われました。12票のうち鈴木昭生議員6票、佐藤一夫議員5票、木戸久康議員1票でした。

副議長選挙では、同じく12票のうち佐藤一夫議員が12票、満票を獲得しました。

議会は、これから4年間住民全体の代表者、奉仕者として、それぞれ選挙で掲げた目標に向かって積極的な議会活動を展開します。



鈴木昭生議長（左）と佐藤一夫副議長

議長

鈴木昭生議員

副議長

佐藤一夫議員

議員定数を2人削減し12人の古殿町議会は、4月3日改選後初となる臨時会を開き、議長に鈴木昭生議員、副議長に佐藤一夫議員を選出しました。また、各常任委員会、議会運営委員会委員の選任、委員長、副委員長の互選が行われ、議会の組織体制を整えました。

総務常任委員会

委員長 佐川 勇司
副委員長 佐藤 弘信
委員 緑川 栄一
委員 高木 節男
委員 岡部 淳一
委員 木戸 久康
委員 佐藤 一夫

議会運営委員会

委員長 関根 角男
副委員長 岡部 淳一
委員 佐藤 弘信
委員 佐川 勇司
委員 青柳 藤治
委員 矢内 泰吉

石川地方生活環境 施設組合議員

関根 角男
岡部 淳一
佐川 勇司

産業建設常任委員会

委員長 矢内 泰吉
副委員長 青柳 藤治
委員 鈴木 一郎
委員 関根 角男
委員 鈴木 昭生

議会だより編集 特別委員会

委員長 高木 節男
副委員長 鈴木 一郎
委員 緑川 栄一
委員 佐藤 弘信
委員 佐川 勇司
委員 矢内 泰吉

須賀川地方広域 消防組合議員

緑川 栄一

議会選任監査委員

佐藤 弘信

住民の代表、住民全体の 議会活動が

【ごあいさつ】

議長 鈴木 昭生

この度の臨時議会におきまして、不肖私が議長の要職を担うことになりました。誠に身に余る光栄であると同時に、責務の重大さに身の引き締まる思いです。

東日本大震災及び原発事故から1年が経過しましたが、復興への道筋は明確に見えてきておらず依然として多くの課題が残されています。

現下の町政課題は、除染対策をはじめ山積しており、私たち議員は住民の代表者として、町民の要望や意見を町政に反映させると共に、開かれた議会、分かりやすい議会の運営に努めます。

皆様方の一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます、就任の挨拶といたします

議員紹介

<p>松川字大作136番地</p>  <p>佐藤 弘信 議席番号3番 51歳 無所属 当選2回</p>	<p>山上字東24番地</p>  <p>鈴木 一郎 議席番号2番 59歳 無所属 当選1回</p>	<p>山上字能登沢52番地</p>  <p>緑川 栄一 議席番号1番 52歳 無所属 当選1回</p>
<p>山上字若久保26番地</p>  <p>矢内 泰吉 議席番号6番 70歳 無所属 当選2回</p>	<p>松川字横川177番地1</p>  <p>高木 節男 議席番号5番 59歳 無所属 当選2回</p>	<p>大久田字多荷94番地</p>  <p>佐川 勇司 議席番号4番 53歳 無所属 当選2回</p>
<p>鎌田字長光地82番地</p>  <p>青柳 藤治 議席番号9番 76歳 無所属 当選5回</p>	<p>田口字石畑198番地1</p>  <p>馬場 久康 議席番号8番 61歳 無所属 当選5回</p>	<p>松川字古内12番地</p>  <p>岡部 淳一 議席番号7番 60歳 日本共産党 当選3回</p>
<p>竹貫字水ノ出2番地</p>  <p>鈴木 昭生 議席番号12番 59歳 無所属 当選3回</p>	<p>論田字袖薄24番地</p>  <p>佐藤 一夫 議席番号11番 57歳 無所属 当選3回</p>	<p>田口字石畑46番地</p>  <p>関根 角男 議席番号10番 74歳 無所属 当選8回</p>

ための林業施設 協議会で検討～

自治功勞で4人の議員を表彰



開会前に、地方自治の発展に功勞があったとして、関根角男、青柳藤治、木戸久康、遠藤喜一各議員（前列左より）に、全国町村議会議長会長よりの表彰伝達がありました。

3月定例会は、3月2日から8日までの7日間の会期で開催されました。

介護保険条例の改正のほか、教育委員の任命、一部事務組合の規約の改正、財産の処分など25の議案を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問には7人の議員が学校跡地の活用、放射能汚染への対応、産業振興など14問に論戦を展開しました。

医療法人教会へ備品を無償譲渡

賃貸期間と耐用年数の経過により

平成15年4月に公設民営で開所した「ふるどのクリニック」も10年目となり、貸付した医療機器等の耐用年数も経過していることから、運営している医療法人教会（佐々木厚博理事長）に無償譲渡する議案を全会一致で可決しました。

建物については、別に年100万円5カ年間の有償賃貸契約を締結しました。

○処分財産
医療機器等診療所備品一式

○処分金額 無料

○契約の相手方
医療法人 教会
理事長 佐々木厚博

大原小学校跡地利用は 森林資源を活かす ～具体的には今後

安定した保険制度を維持

介護保険条例を改正

高齢化による介護サービス利用者の増加に備え、将来にわたり安定した保険制度を維持するための改正です。

今回の改正により第1号被保険者（65歳以上）の保険料基準月額額は、3500円から4200円と700円増えます。

討論

反対
岡部淳一議員

保険料を納めることにより全ての人が介護の恩恵^{あずか}を与えることができるようになっていますが、現実的には保険料を納めながらも利用しない人がいます。また、介護の利用料が高くなり、使いつらくなつて抑制する人も増えております。その上負担が増えるとなれば、年金生活者にとって多大な負担になることは明白であり、反対します。

賛成
鈴木昭生議員

大久田小の老人保健施設の開所並びに石川福祉会の特別養護老人ホームの増床により、施設入所者の増加が見込まれることから、介護給付費の増加は止むを得ないものと思います。基金の取り崩しを行い増額の幅をできる限り抑えていますので賛成します。

採決

賛成10、反対2



教育委員会委員任命に同意



大柴宣和氏
選任された

人権擁護委員

候補者推薦に同意

法務大臣が委嘱する人権擁護委員の候補者に仙石字木戸脇の有賀春男さんと松川字横川大竹徳一さんが適任であると同意しました。（2人とも再任）任期は平成24年7月から3年間。



大竹徳一さん



有賀春男さん

予算補正の状況

（1万円未満切り捨て）

会計区分	今回補正した金額	補正後の予算額	採決の結果	
一般会計	△2億3,638万円	46億1,515万円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険	△998万円	6億4,891万円	全員賛成
	簡易水道	△892万円	9,914万円	全員賛成
	農業集落排水事業	△89万円	7,569万円	全員賛成
	林業集落排水事業	△318万円	6,709万円	全員賛成
	介護保険	△1,121万円	5億7,196万円	全員賛成

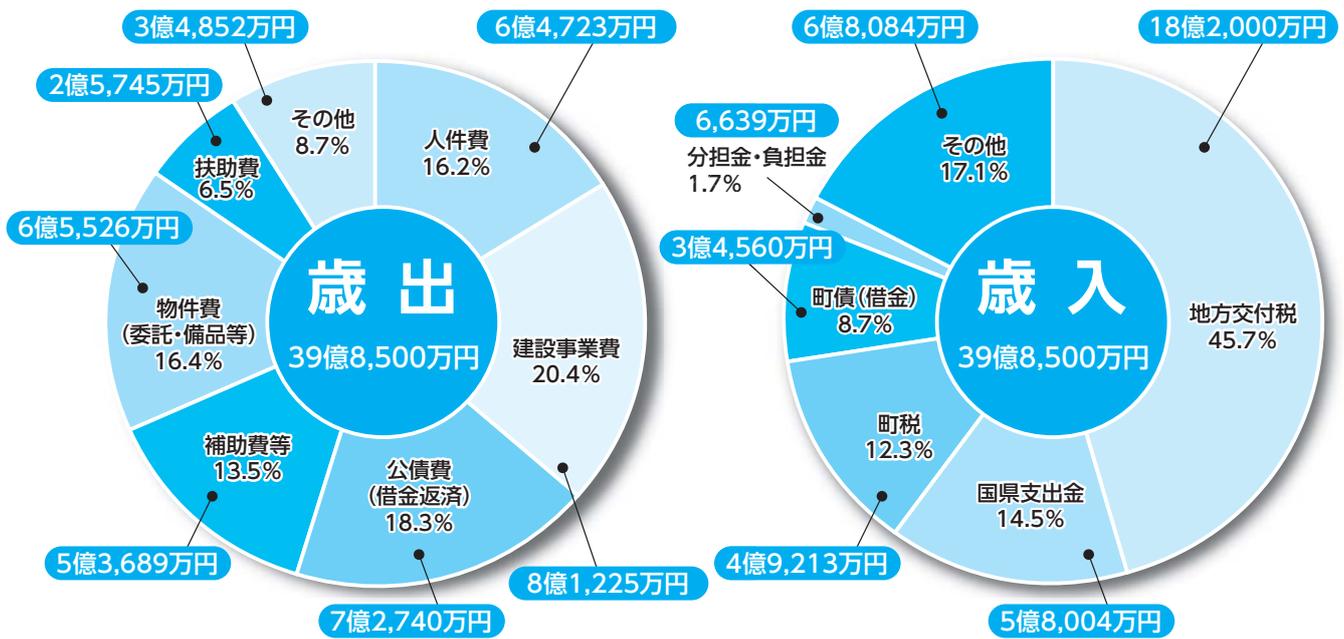
空席となっていた教育委員会委員に、田口字久保田大柴宣和氏を任命する人事案件に同意しました。任期は平成28年3月31日までの4年間。

総額55億の予算



全ては自然と調和した“ぬくもりのある”まちに

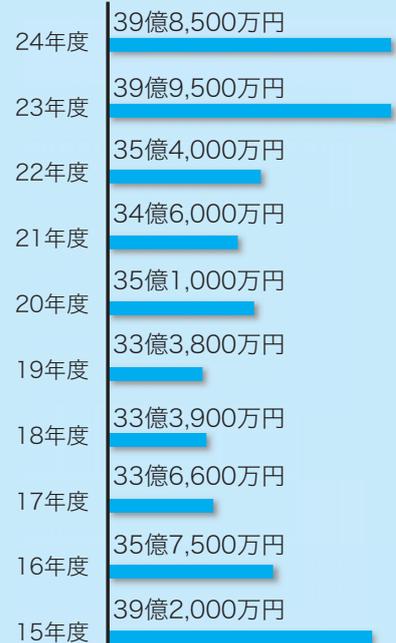
24年度一般会計予算



24年度各会計の予算額と採決の状況

会計名	予算額	前年度比	採決の状況
一般会計	39億8,500万円	△0.2%	賛成11、反対1で可決
国民健康保険	6億5,641万円	△1.2%	賛成10、反対2で可決
簡易水道	1億203万円	0.3%	全員賛成で可決
農業集落排水事業	7,370万円	3.1%	〃
林業集落排水事業	2,660万円	5.6%	〃
介護保険	5億9,783万円	6.7%	賛成10、反対2で可決
後期高齢者医療	5,694万円	3.5%	賛成11、反対1で可決

一般会計予算額の推移



予算の特徴は
 平成24年度一般会計当初予算は39億8,500万円、前年度と比べると0.25%減額となりました。歳入では、税金、国県補助金などが増となり、町債が減となります。歳出では、庁舎太陽光パネル設置、地デジ難視対策補助、児童クラブ運営、除染に伴う仮置場造成工事や新エネルギービジョン実現化事業、幼児一体化施設整備、米粉・大豆利用拡大の特産づくり等と森林を核とした産業の振興に積極的に予算が計上されています。

主な新規事業

公民館改修工事 実施設計委託料

老朽化した設備をはじめ公民館ホール、図書館等の改修を図り、多目的利用施設としての拡充をする。

1,500万円



町公民館を大規模改修

除染実施事業

仮置場設置事業、除染関係委託料線量低減化活動支援事業等。

9,482万円

庁舎等再生可能 エネルギー導入事業

庁舎等太陽光パネル及び蓄電池導入事業実施設計委託50kw。

500万円

凍雪害防止事業

融雪剤散布機2台を購入するとともに、管理運営を業者に委託する。

2,218万円



除線作業

新エネルギー ビジョン実現化 調査事業

再生可能エネルギー事業化に向けたコンサル業務、実現化協議会での検討から実現化を図る。

1,214万円



幼保一体化施設建設用地
“総合こども園”

幼保一体化施設 整備事業

子どもの安心・安全のための幼保一体施設を整備する。実施設計委託料、土地購入、周辺整備工事等。

9,418万円

一般、広報、財政、財産、税、戸籍、選挙等の費用

**総務費
85,640円**

社会福祉（生活、障がい、高齢）、児童福祉等費用

**民生費
149,630円**

義務教育、社会教育、保健体育等の費用

**教育費
71,574円**

農業委員会、農業（農業・畜産・農地）林業の費用

**農林水産業費
61,052円**

借入金（元金・利子）の返還に係る費用

**公債費
123,792円**

24年度一般会計

町民一人当たりの
金額



678,180円

**衛生費
57,868円**

保健予防・検診やごみ、し尿等の環境衛生の費用

**土木費
75,472円**

道路橋りょうや河川、住宅等の維持管理費等

**消防費
26,262円**

消防設備や消防団、広域消防組合の費用

**議会費
12,668円**

議会運営に係る全ての費用

**商工労働費
11,956円**

商工業と観光及び労働に関する費用

※人口は5,876人として算定

予算審議

一般

(質疑の一部を掲載)

Q 町税が2744万円増えているが、その要因は何か。特に法人については。

A 23年度の徴収実績をもとに計上した予算です。法人については町内116社あるが、総じて収入が伸びている状況です。

Q 町債の辺地債は最近対象地域が拡大された。辺地債だと有利な借り入れができるわけだが、予算では減額となっているので、その辺の見解は。

A 予算では地デジ対策での活用を考えました。今までは道路整備を中心に活用していましたが、対象となる箇所が少なくなっております。

Q 再生可能エネルギー検討委員会の内容は。

A 検討委員会の委員の構成ですが、製材業者や国の出先機関の方々、大学教授を想定しています。具体的にはこれからです。

Q 光ケーブル利用料1098万円は利用者が増えれば増えるのか。

A 定額のもので、加入者が増えても同額です。

Q 幼保一体化施設整備で土地購入費670万円余があるがその利用目的は何か。

A 保護者の園児送迎車両の待機所としての取得です。

Q 町民ブランド等除染作業はどのような方法でするのか。

A 1cm程度の土砂の除去ですが、先行して実施する小中学校の除染作業の結果を見て対応します。

Q 除染対策用備品購入費750万円あるがどのようなものか。

A 仮置場の管理棟用備品、雑木の細かくするチップパー、水を除染する機器の購入です。

Q 町特産品等PR事業委託の内容は。

A おふくろの駅に2人を配置した中で、町内産品のPRを行うものです。

Q 牛の対策に関する予算が数多くあるが、原発事故後は色々な変化が想定されるが、それらへの対応は。

A 現在の繁殖農家等の状況を考えると、餌については大変な困難が想定されるので、対応にあたっては状況を把握しながら支援していきます。

Q 稲作物放射性物質低減事業のの中身は。

A 水稲の放射性物質を軽減させるために「ゼオライト」と言う吸着剤を全稲作農家に配布し、水田の水口に設置して頂くものです。

Q 融雪剤散布機購入費1300万円の内容は。

A 車両に取り付けて使う散布機2台を購入しま

す。この機械と塩カルを業者に提供して、散布作業の業務を委託します。



林業施設への進入路として整備が計画されている「大原地内の橋梁」

A グランドに防犯灯を設置するとともに部室へも照明設備を設置するものです。

討論

(反対) 岡部淳一議員

除染計画の幼保・小中学校グラウンドの作業手法の問題点、大原小学校跡地利用の進め方で橋の設計を認めると、地域全体の振興が明確にされないまま進められる問題点、昨年から求めてきた18歳未満の医療費の無料化について、もっと積極的に対応しても良いのではとの考えから反対します。

(賛成) 高木節男議員

課題もあるが震災後の諸問題を解決し町民の生命と生活を守りつつ、次世代を担う子育てなど大切な予算であることから賛成します。

採決

賛成起立者多数
(賛成11反対1)

国民健康保険

質疑

Q 予算では前年と比べ増となっているが、一人当たり一戸当たりの保険税は、どのようなになるのか。

A 3年据え置きしてきましたが、今年度は、被保険者1人当たり1万4000円の値上げを見込んでいます。

Q 国庫支出金の普通調整合交付金が減じているが要因は何か。

A 前々年度の医療費の実績が予測より少なかったため実績に応じて相殺されたためです。

Q 医療費抑制のために町ではどのような対策を講じているのか。

A 薬剤費の割合が高いことからジェネリック医薬品の普及と健康管理センターでの予防指導に力を入れております。

討論

(反対) 岡部淳一議員

家計収支の税金の中で一番多いのは国民健康保険税です。住民の中には収入が減って納められない方も数多くいます。資格証のためお金がないのに全額医療費を払わなければならぬ現実、一般会計からの繰り入れをして負担の軽減を図ることが必要と考えることから反対します。

(賛成) 鈴木昭生議員

現在の社会情勢の中で国民健康保険を運営していくためには、止むを得ないことであると思えます。財源の確保と医療費の適正支出をお願いし賛成します。

採決

賛成起立者多数
(賛成10 反対2)



オープンが待たれる老人保健施設「大久田リハビリ・ケアセンター」

介護保険

質議

今回の改正では、新たに大久田にできる老人保健施設の入所者数の増分も見込んでいるとのことですが、どの程度なのか。石川福祉会の特別養護老人ホームの増床分と合わせ23名分の増加を見込んで試算しております。

討論

(反対) 岡部淳一議員

現在の状況の中での負担増は非常に負担が重く思えます。基本的には

国がもつと負担すべきと考えますので、現実的に負担増には反対します。

(賛成) 鈴木昭生議員

歳入では基金を取り崩し負担の軽減を図るとともに、歳出では施設入所者の増加を見込んでおり介護予防等にも予算措置がなされておりバランスのとれた予算であることから賛成します。

採決

賛成起立者多数
(賛成10 反対2)

後期高齢者医療

質議

Q 今年度の予算の中で、保険料はどの程度引き上げになりますか。

A 保険料改定の時期であり保険料は上がります。

内容的には、均等割4万円は据え置かれますが、所得割は7・6%から7・76%と0・16%、金額に

討論

(反対) 岡部淳一議員

この制度そのものが問題のある制度といわれており、この状況の中で目白押し的な引き上げは非常に負担が重く、負担軽減の施策が必要と考え反対します。

(賛成) 鈴木昭生議員

町の高齢化率は高く医

して350円の引き上げになります。

県内すべての原発の廃炉

最低賃金など2つの意見書を国へ提出

◎福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願

提出者 福島県連合会
議長 高宮 清

◎福島県内すべての原発の廃炉を求める請願

提出者 福島県母親連絡会
代表委員 山崎 満子

審議の結果

(意見書提出先) 内閣総理大臣ほか

審議の結果

(意見書提出先) 内閣総理大臣ほか

採決

賛成起立者多数
(賛成11 反対1)

療費の伸びは避けられないものがあります。これらを考えたとき本予算については止むを得ないものがあり、今後も医療費の抑制に努めるようお願いし賛成します。



わんぱく広場で、福島大学の学生と交流



町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずね

一般質問

高齢者の足の確保は

Q 高度経済成長期と言われた40年近く前から人口移動現象が始まるとともに、車社会も発達し社会生活も大きく変化しました。

町も、そのような社会変化の波により人口減少と高齢化社会が進んでいます。

この地域で生活を営み5年後、10年後を想定すると高齢者の足の確保が町民福祉の大事なひとつと思いい、次の点について伺います。

第1点 福祉バスの運行状況は。



たかぎ せつお 議員
高木 節男



定期運行される“福祉バス”

第2点 高齢化社会の生活の中では、地元商店街の買い物客の足の確保も大事かと思われます。今後どのような対応策があるのか。

第3点 道の駅を、公共交通の拠点とする考えはあるのか。

運営状況を

考慮しながら検討

町長

A **1点目** 月曜日から金曜日まで、へき地バスと合せて1日2台、計7コースで運行しています。

2点目 福祉バス、へき地バスについては、現在医療機関、金融機関、町役場、更には商店への買い物物の足として、利用されているものと認識しています。今後の対応としては、農協などで行っている食材の配送、個人商店が行っている移動販売

3点目 おふくろの駅については、地域振興の一端として整備され、その後道路交通の要所としての駅登録を受けています。現在でも、福祉バスの運行コースとして利用されていますが、施設の拡充を含め、おふくろの駅の運営状況の考慮をしながら、検討していきたいと考えています。



情報発信と産品開発のステーション
“おふくろの駅”



おかべ まさちか
岡部 政一 議員

林業施設とは何なのか

Q 下松川区では、大原小学校跡地の維持管理が出来ないということで、町に利活用を委ねています。説明では林業資源の付加価値を高める為、林業施設に利活用するといふことだけで漠然としています。しかし、大原小学校橋の拡幅工事の全体事業費二億円の中で24年度は設計に1500万円の予算が計上されています。このように、具体的な計画性のない事業に、そして、地域に十分な説明もなく、事業を展開するのは倒行逆施であり、地域に説明をし、充分に

検討すべきであります。

第1点 現在、なぜ大原小学校跡地に林業施設が必要なのか。

第2点 林業施設とはどのようなものなのか、規模はどのようになるのか。

第3点 橋に2億円の費用対効果と経営形態をどのように考えるのか。

第4点 環境アセスメントに問題はないのか。

第5点 現道との関係を考えているのか。

第6点 地域にこれからのプロセスを説明する必要があると思われるがどうか。

協議会の中で検討

町長

- A**
- 1点目** 何れも業を起すことで雇用の場を創出することが出来るものと考えています。
 - 2点目** 施設内容・規模とも、具体的には協議会を立ち上げ検討します。
 - 3点目** 費用対効果の尺度で事業の可否は判断できなと思っています。
 - 4点目** 住民に与える影響には充分対処したいと思っています。
 - 5点目** 整備方法の調査検討をしています。
 - 6点目** 協議会の中で施設内容等ある程度の方向性が見えた段階で説明します。



林業施設として整備される
旧大原小学校跡地

老朽化とコスト削減のため

町長

- 第1点** 町にいつ頃、どのような内容で話しがあったのか、どのような対応したのか。
- 第2点** 撤退する企業にどのくらいの支援をしているのか。
- 第3点** 支援を受けている工場が閉鎖するとき、町に報告、通告する義務はあるのか。
- 第4点** 残された広大な工場跡地に対して、撤退企業と町の考えはあるのか。
- 第5点** 解雇された従業員に対して、就職の斡旋など、対策する考えはないのか。

支援企業撤退の対策は

Q 数少ない町の企業が工場閉鎖されるのは従業員にとっても町にとっても

も影響は計り知れないものであります。

- A**
- 1点目** ゼネラルマネージャーが来庁、三月末で工場閉鎖する報告を受けた。理由、排水設備の老朽化、コスト削減が緊急な状況であり、東京近郊に新たな投資をすべきとの判断をすることになった。
 - 2点目** 創業助成金281万円、工場等立地助成金45万8000円、雇用促進助成金250万円、借入金利子助成金973万7000円、合計1550万5000円です。
 - 3点目** 古殿町企業立地促進条例施行規則第10条の規定により操業廃止届を提出することになっていました。
 - 4点目** 工場跡地を処分するとき、町に相談して欲しい旨を伝えています。
 - 5点目** 町内従業員33人の内、4人は本社勤務、7人は別会社が決まったとの報告を受けています。解雇者は失業保険制度を活用しながらハローワークで就職活動しています。

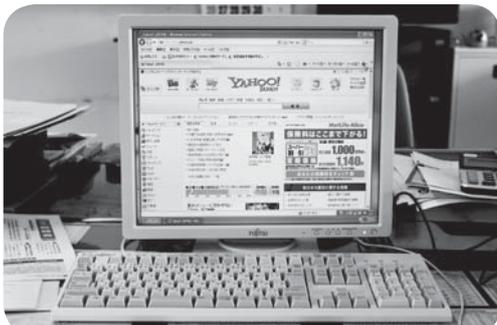


さとう ひろのぶ 議員
佐藤 弘信

光ファイバー網を活用したサービスの提供を

Q 高度情報化社会の進展により、住民を取り巻く生活様式にも大きな変化がもたらされ、携帯電話の普及拡大、インターネット接続サービスの提供等、大容量の情報が提供されています。国に於いてもIT基本法に基づき、県でも「うつくしまeビジョン」を基に施策が推進されています。我が町でも第6次振興計画の中で、高度情報化社会に対応出来る環境の整備を謳っております。

平成22年に町内全域に光ファイバー網を整備しました。今後は投資した設備を利用して何をやる



光回線によりインターネット環境が大幅向上

のか、どんなサービスを提供するのか。光ファイバー網を利用した住民サービスについての考え、今後の展開を伺います。

第1点 光ファイバー網を利用した、今後の住民サービスへの基本的な考え方は。

第2点 町内での光ファイバー網への加入状況と行政区ごとの件数は。

第3点 町のホームページのアクセス状況は。

第4点 光ファイバー網を利用したサービスには福祉・医療関係、防災の情報伝達等が有効利用とされていますが、どのよ

うな取り組みが考えられるか。

第5点 行政側で予算を投入して実証することも大切であると考えます。議会のライブ中継をインターネットを通して町民の皆さんに提供出来ればより身近になると思われるので見解は。

第6点 今後、光ファイバー網を利用するにあたり課題は何か。

課題を分析し検討していく

町長

A

1点目 利用法については、町でも検討・模索しています。各自治体でNTTなどと共同で実証実験が行われています。防災行政無線や高齢者の安否確認・健康管理などが考えられます。

2点目 行政区ごとの集計はしておりますが、2月末時点で515件の加入があります。

3点目 平成21年度からのアクセス件数は約23万2000件となっており、年々増加傾向にあり、昨年は10万3000件となりました。

4点目 防災行政無線の更新、高齢者の安否確認を含め検討していきます。

5点目 近年そのようなシステムを導入している自治体もありますが、現

時点では考えておりません。

6点目 インターネット加入による使用料の負担が大きき課題であると考えます。NTTなど事業者が提供している、自治体向けのアプリケーションソフトも現段階では町のニーズを満足するものとはなっておりません。

インターネット接続の速度比較

接続の種類	具体例	受信速度
ダイヤルアップ	アナログ (一般電話)	～56 Kbps
	ISDN モバイル接続	～64 Kbps
ADSL	ADSL	～数拾 Mbps
CATV	ケーブルTV	～数拾 Mbps
FTTH	光ファイバー	～100 Mbps

※単位のbpsとは、転送速度を表します。数値が大きいかほど、転送量が多くなります。K.やMは補足単位1Mは、約1,000Kbpsになります。



近内 光英 議員

診療所の契約内容は

Q 懸案であった診療所との賃貸借契約が成立したとのことですが、その内容と契約に至る経過について、前の協定書と照合しながらその詳細を伺う。

第1点 賃貸借契約の内容を条文に基づき伺う。

第2点 契約に至った経過の詳細を伺う。

前年4月からの5カ年契約で

町長

A 1点目 契約書条文は全8条で構成され、第1条、第2条は、契約の趣旨及び信義誠実の義務、第3条、第4条では貸付物件の表示及び貸付期間、賃料など貸し付け条件、第5条から第7条では、賃貸物件の管理と費用負担、第8条は契約内容に疑義が生じた場合の協議

条項です。

2点目 一昨年11月の協議申し入れから、大震災での中断、再開と数度の交渉を行い、課題であった使用料負担と使途について理解を頂き、2月9日に、前年4月1日に遡及した有償年100万円、契約期間5年間の契約を締結しました。

疑義が生じた場合の協議

疑義が生じた場合の協議



課題を克服し統合を成し遂げた“古殿小学校”

無競争3選を果たした政治姿勢

Q 昨年、町長は見事無競争により3選を果たしました。これから岡部町政の集大成を図るため多くの政治課題に取り組みわけだが、不退転の政治姿勢により困難を乗り越えるよう大いに期待する。

第1点 国をはじめ地方も財政運営の困難が想定されるが、町長としてどのように捉え舵を取るのか。

第2点 国の長引く景気低迷と少子高齢化、原発事故への対応と、多くの課題が山積しているが、町長としてどう乗り切る覚悟か。

第3点 町民の視線を大事にし、これからの厳しい未来を想定しながら、自信を持って運営にあたって頂きたいが、町長の考えは。

転換期の中、住民自治を基本に

町長

A 1点目 国、地方を合わせて1000兆円とも

3点目 デフレ経済の中

国、地方を合わせて1000兆円とも言われる公債残高を抱え、国債に対する信用も疑問視され始める中、歳入の約7割を交付税等の依存財源に頼る財政事情から景気の先行きと国政の動向に常に関心をもっています。また、サービスの給付と負担の原則については、選択の時期が近いと思っています。

国、地方を合わせて1000兆円とも言われる公債残高を抱え、国債に対する信用も疑問視され始める中、歳入の約7割を交付税等の依存財源に頼る財政事情から景気の先行きと国政の動向に常に関心をもっています。また、サービスの給付と負担の原則については、選択の時期が近いと思っています。

デフレ経済の中、国際的な金融と財政への不安に加えて、これまでの価値観に基づく国づくり、地域づくりも限界にきているものと思います。こうした、時代の転換期を迎えつつあるなか、住民自治を基本に、町民との直接対話を通じて地域の課題解消に取り組みます。

2点目 町には

緩やかな地域の連携を基本とする絆が保たれており、町民の疑問や不安に対しては対話を基本に、地域の課題、要望に対しては、公益と継続性を基準とする安心して暮らせる町づくりを目指します。



子ども達の未来のために



さ が わ ゆ う じ
佐 川 勇 司 議 員

補助金の期限延期を

Q 震災で壊れた水源や住宅の修繕費への補助金交付は町民への大きな生活支援です。期限までの工事完成は困難と予想

され補助金の期限延期が必要ではないか。今後の支援策はどうか。伺います。

申請工事分を繰越す

町長

A 補助金申請を締め切りましたが、資機材等不足で一部、年度内完成が見込めない申請工事分を繰越します。

住宅等の修繕補助金についても、同様な理由により繰越します。今後の支援策については、期限のなかで対応します。

放射線量計の設置目的は

Q 町内各地に固定型の空間放射線量測定器が国機関から直接発注され設置されたと聞きましたが、町民の皆さんも電光掲示板の方向など疑問の声もあります。そこで伺います。

第1点 この放射線量器の各設置の経過と目的内容は

第2点 電光掲示板の見やすい方向と相違しているが太陽光発電機能に影響があるか。

第3点 この事業の今後の展開とその周知方はどうか。



固定型放射線量計
旧大久田小

リアルタイムで公表

町長

A **第1点** 区長等関係者と協議決定、文科省が常時観測するため町内21カ所に設置し、インターネットにより、リアルタイムで公表します。

第2点 直接太陽光発電への影響はありませんが

第3点 14基は1年間、7基は10年間、観測を行い、広報紙とホームページで見られます。

旧論田小の利活用は

Q 校舎も含め利活用出来る旧論田小の廃校利用は、町民も大きく期待している事と思います。

第1点 現在までの利活用依頼と情報提供は。

第2点 農業振興を考えた6次産業展開などの利活用の考えはどうか。

第3点 建物と電気・水道・浄化設備等の地震被害はどうか。

第4点 この施設の維持管理はどう管理されるか。

雇用創出など、考えて行く

町長

A **第1点** 町内農業法人から、シイタケ栽培での利用とサイト企業からのソーラー発電敷地の計画書提出を待っています。

第2点 雇用の創出産業の育成・企業誘致など含め考えて行きます。

第3点 修理の必要はないですが、電源の休止で上下水道を含め利用できない状態です。

第4点 普通財産として管理し緊急雇用の職員や地元論田地区のボランティアの方々で草刈り等を行ってます。



旧論田小学校



おかべ じゅんいち 岡部 淳一 議員

スクールバス冬場運行の対策は

Q スクールバスの運行が始まりました。夏場はともかく、今冬の寒さと積雪には前年までとは様相が一変しました。町内各路線とも道路幅と積雪・凍結問題は共通ですが、問題は県道です。次の点について質問します。

第1点 今冬の運行について委託先に対して問題点は確認しているか。
第2点 直接、運転者から実状について、確認することはあるのか。

第3点 運行路線について、積雪・凍結などの確認をしたことはあるか。
第4点 運行上の観点から、町道及び県道に具体的対応をしたことはあるか。
第5点 問題点が見つかったら、子供たちの安全上、すぐに対応実施はするののか。

安全運行のため関係機関と協議

町長

A 運行初年度なので県道については石川土木事務所の協力でスクールバス路線の優先的除雪をお願いしました。
1点目 委託先で運転者から確認しています。
2点目 1点目同様、運転者から道路状況等を確認しています。
3点目 除雪後の道路状況等については確認しています。
4点目 除雪後の状況により、融雪剤散布、また再度除雪を実施した箇所もあります。
5点目 問題点については、利用者の安全のためできるものについては、県と協議し対応していく考えです。



重点事業等の展開を問う

Q 2月10日に24年度重点事業が発表・説明されました。この段階では、

もはや決定した形での説明でしかありませんが、一定の事業説明を求めな

ら質問します。合わせて臨時職員についても伺います。
第1点 除染実施事業の中は、除染計画との関係は。
第2点 新エネルギービジョン実現化調査事業の具体策とは何か。
第3点 千年の森事業など、森林に関する事業と放射能、除染の問題については、どのように考えるべきなのか。
第4点 大原小跡地利用はあくまで橋の架け替えによる林業施設なのか。跡地利用と新エネルギーとの関連性はあるのか。
第5点 馬場橋の架け替え工事、向かい側の町道対策の考えはまとまったのか。
第6点 今年度の臨時職員の採用は確定したのか。

計画等に基づき逐次進める

町長

A **1点目** 除染事業については、町除染計画に基づいて実施します。
2点目 木質バイオマスでの熱利用に加え、発電の可能性や、自然水利及び太陽光発電について実施に向けた調査をします。
3点目 山林の除染方法は、国県などの関係機関で研究していますが、効果的な除染方法が確立されておらず、現段階では判断しがたい状況です。
4点目 林業関連施設には大型車両の交通が余儀ないことから、橋を拡幅したいと思います。
5点目 新橋への町道馬場集り線などの取付計画について、計画がまとまり次第、地元説明会を予定しています。
6点目 現在、最終選考を進めています。39名程の採用を予定しており近日中に採否の通知を予定しています。



さとう かずお 議員
佐藤 一夫

長期の視点で基幹産業確立は

Q 他自治体と比べ優位性のある特産物・産業が見えない中、町民の努力により経済活動が展開され町でも様々な施策を講じているが、難しい現状である。震災から1年、原発事故との長年にわたる対応を考えると、今こそ復旧・復興を見据えた長期の視点から、町の基幹産業の確立と、人材育成に傾注すべきと考え次の点を伺います。

- 第1点** 町の産業構造と職種別労働人口の把握は。
- 第2点** 基幹産業の確立に対する捉え方、考え方は。
- 第3点** 近年、森林関連施策が目立つが、今後の方向性を示したもののなか。
- 第4点** 既存施設を人材育成施設としての研修所や異業種・多目的利用可能な施設として活用を図ってはどうか。



豊富な森林資源の活用が町発展に

森林を活用したシステムを構築

町長

A **1点目** 一昨年の国勢調査では、第1次産業422人、第2次産業1299人、第3次産業1104人となっています。

ていですが、企業誘致も厳しいことから、業を起すことも一つの方法と捉え、その核となるものは広大な面積を有する森林資源であり、資源のフル活用循環型システムが構築できれば第1次・第2次産業業種での雇用も

2・3点目 今は、第1次産業が衰退し第2次・第3次産業が多くを占め

生まれると考えます。

4点目 業種ごとの技術を身に付けるのであれば職業訓練所や、仕事に就かせながら育成していく方法もありますが、人材育成の中身等内容によっては、そのような考えもあるかと思えます。



有効活用が期待される 論田小学校跡地

常任委員会

24.3.5

総務常任委員会は付託を受けた2件の請願の審査、産業建設常任委員会は工事の進捗と仮置き場予定地を調査しました。

総務

〈付託案件〉

請願第1号

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願

請願第2号

福島県内すべての原発の廃炉を求める請願

以上2件についての委員会の審査結果は、採択となりました。



第1回臨時会

24.2.10

除染計画に基づく作業等に

2億9690万円を補正

平成24年第1回臨時会は、2月10日に開かれ、市町村復興支援交付金の交付に基づく復興支援基金条例制定と、この基金への積立金並びに法に基づき作成した除染計画の作業実施のための一般会計補正予算を、原案どおり可決しました。

議案 審議

一般会計補正予算

質疑

Q 山菜栽培被覆資材支援の、基本的な考え方は。

A 山菜の施設栽培では収穫が終了すると被覆資材を全部取り去ります。

今回、この取り去った被覆材に高線量の汚染があったため使用できないため更新のための支援です。

Q 山菜栽培でない一般のビニールハウスの考え方は。

A 当然ですが、早急に対応しなければならぬことから、町で予算を組み対応します。

A 年間を通して被覆しているものは、長い間に雨水等により流され、放射性物質は確認されていません。

Q この事業は当然東京電力への損害賠償の一つと考えるのか。

A 当然ですが、早急に対応しなければならぬことから、町で予算を組み対応します。

Q 幼保並びに小中学校の除染は、建物の次に表土の除去なのか。

A 建物の除染は済んでおり、今回は校庭等の除染で表土の除去です。

Q 国有林野貸付申請書作成委託料とは。

A 仮置場の工事に入る前段として、林野庁に提出する書類作成の委託料



ビニール被覆材を更新し安全・安心の徹底を

Q パイプハウスの被覆材への支援で、水稲の育苗ハウスも同じ条件かと思うが。

A J Aとよく確認をしながら検討していきます。

です。敷地の測量と施設の構造等の図面が必要となります。

Q 賃貸料は発生するか。

A 通常は発生しますが今回の場合に関しては求めないということです。

予算の補正状況

会計区分	今回補正した金額	補正後の予算総額
一般会計	2億9,690万円	48億5,153万円

みんなのページ

今回紹介するのは **古殿町伝統芸能保存 かしわ会、芳柳古殿会** の皆さんです。

いつ頃、どのような経緯で発足しましたか。

会員数21名(大人15人、子供6人)。会長は水野ヒロ子さん。やぶさめ音頭の継承と日本舞踊を通じた情操教育を目的としたボランティア団体として、平成15年に2つの名称をもつ会が発足しました。



水野ヒロ子会長



掛田千恵師範



山形県花笠流し踊りで応援の方々と

どのような活動をしていますか。

掛田千恵師範を講師として、定期的に練習を重ね福祉施設(特老ふるどの荘、コスモス荘等)への慰問や文化協会の芸能祭、各地域のイベントに参加。山形の花笠流し踊りにも「福島県古殿町」のプラカードで毎年参加し交流を図っています。

今まで楽しかったこと、苦勞したことなどありますか

各施設に慰問に行った時に、入所者、保護者、職員の方々に楽しかった。又ねと笑顔で送られた時は疲れも感じません。また、昨年の山形花笠流し踊りでは、沿道から“福島・古殿”頑張れとすごい応援を受け、活力を沢山頂きました。



3歳から小学生の子ども達も一生懸命練習



町文化祭“芸能祭”で踊りを披露

現在の課題などはありますか。

年に一度の「古殿八幡神社祭礼」では、各団体の協力を得て流し踊りを実施していますが、参加人員が年々減少の傾向にあります。祭りを盛り上げていくためにも、多くの方々の参加をお願いします。

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

6 月中旬